

みんなで作る

ふれあいの大屋根

“滝沢市交流拠点複合施設”

住民が集う場として、大屋根の下、麓に出来た集落のように顔を出す様々な交流施設がにぎわいをつくれます。

ROOF NEWS Vol.10

※屋根の英単語 ROOF をとり、タイトルとしました。

平成 26.3.19 滝沢市 (交流拠点整備室)

ROOF1 第7回のワークショップ(全体会)が開催されました

本年滝沢市になって初めての交流拠点複合施設のワークショップ(全体会)が2月14日に、滝沢市公民館・大ホールにて行われました。

今回は設計段階の最終会で、これまで皆さんと議論を重ねてきた結果が「実施設計」としてとりまとめられ、その確認会として開催されました。

ROOF2 第7回検討ワークショップ(全体会)の概要

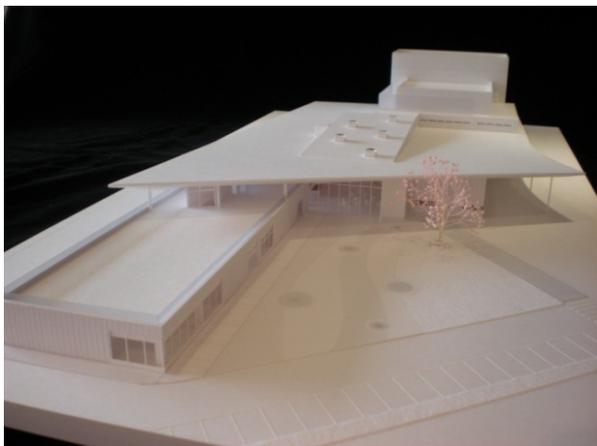
第7回全体会では、これまでの経緯等を確認した後、最終案としての実施設計概要版、各室の平面レイアウト、断面図、大ホールの詳細図、除雪計画について、新たなパース、スライド、模型を使って説明が行われました。

これまでの復習も兼ねて、計画案全般について丁寧に説明が行われました。また、模型は大屋根を外せるようになっており、内部も表現されており、模型を見ながら活発な意見交換・議論が行われました。

部員の皆さんから意見や感想をいただいた後、最後にそれらの意見をコーディネーター・三宅諭先生(岩手大学)と建設推進委員長・狩野徹先生(岩手県立大学)にまとめていただきました。



全体会の様子



最終プランの模型



最終プランの模型(大屋根を外した状態、図書館周辺)

ROOF3 ワークショップ結果概要

ホール部会

ホールの使い勝手や断面詳細図を確認いただき、これまでの意見を踏まえた計画であることを確認しました。

図書館部会

窓ガラスの仕様についての質問や、和室の多目的な利用が可能になるように部屋は一体的に使えるのかというような意見が出されました。

また、多くの人から利用されることを踏まえて児童コーナーのイスは大人と子どもが使えるようにして欲しいといった備品に関する意見も出されました。



模型を見ながらあれこれ論議

コミュニティ部会

調整池の仕上げに関する質問、屋外スピーカーの位置や数に関する質問、市民活動センターの印刷室の遮音性などに関する質問が出されました。

また、たきざわ広場のシンボルツリーをサクラで計画していますが、滝沢市を象徴するようなリンゴなどの植樹もいいのではないかという意見も出されました。



ワークショップの意見のとりまとめ

ROOF4 講評

三宅諭先生（岩手大学）より

全体コーディネーターの三宅先生からは、これまでのWSを振り返り、全体の居室配置から細かい仕様まで話が出来たのは良かったが、今後は工事に入って行く中でも、使い勝手を良くしていく取り組みを継続していくことが重要であるという意見を頂きました。

狩野徹先生（岩手県立大学）より

建設推進委員長の狩野先生からは、施設を使う側の意見と設計の意図が合うことでより良い施設になっていくので、今後も工事が進む中でも調整は可能と感じているといったご意見を頂きました。



ふれあい広場のイメージCG

ROOF5 まとめ

これまで全10号のROOF NEWSでワークショップの議論を踏まえた交流拠点複合施設が具体的な形となって行く過程を紹介してまいりました。ご覧頂いた皆様には心より感謝申し上げます。

今後は建築工事に着手して参りますので、今後とも交流拠点複合施設の建設の推進にご協力よろしくお願いたします。